

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12238

展示資料充実事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	展示資料充実事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	前田 敬彦 423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌山市に関する貴重な資料を購入するとともに、郷土資料の寄贈・収集により、資料の充実を図る。		展示の役に立てるため、資料の購入等により、博物館資料の充実を図る。			
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
	郷土資料の寄贈・採集により、資料の充実を図る。	郷土資料の寄贈・採集により、資料の充実を図る。	郷土資料の寄贈・収集により、資料の充実を図る。	郷土資料の寄贈・収集により、資料の充実を図る。	郷土資料の寄贈・収集により、資料の充実を図る。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,000	2,000	2,000	1,550	0	0	0	0	0	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	△22.5%	△100%	△100%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	1,692	1,692	1,673	399	0	0	0	0	0
	正規職員以外	0	0	1,312	1,563	1,536	0	0	0	0
	小計	1,692	1,692	2,985	1,962	1,536	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	205	194	209	174	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,795	1,806	1,791	1,376	0	0	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.21	0.21	0.21	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.33	0.38	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	0円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
資料購入評価委員会の年間開催数		回	目標値	1	1	0		
			実績値	1	1	0		
			達成度(%)	100%	100%	0%	%	%
購入資料件数		件	目標値	10	10	0		
			実績値	20	21	0		
			達成度(%)	200%	210%	0%	%	%
寄贈件数		件	目標値	10	10	10		
			実績値	18	6	11		
			達成度(%)	180%	180%	110%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	調査研究に必要な資料の収集を継続しており、館蔵資料の充実を進めることにより、より充実した展覧会の開催ができるものとする。
見直し・改善内容	最近、コレクターが収集した資料が代替わり等により手放されるケースが増えている。本市にとって残すべき資料について、精査の上、保管に努めていく。